

臨床にどっぷりつかった 1 ヶ月間

地域の病院で約 1 カ月間の総合診療科実習を行いました。この実習を通じて、医師としての多くの大切なことを学びました。国家試験への勉強とは異なり、現場では重要な情報を自分で探しに行く必要があることを実感しました。問診において、患者さんからの情報を的確に把握することの難しさを痛感し、自ら積極的に情報収集を行う姿勢の重要性を学びました。また、単に診断をつけるだけでなく、緊急性や治療方針を考慮しながら問診や検査を行うことの重要性を学びました。これにより、聞くべきことや行うべき検査などが分かるようになっていきました。

先生方にはお忙しい中、毎日夕方 1 時間半以上もの時間を学生や研修医に費やしていただき、その日対応した症例のフィードバックをしていただきました。学生である自分にも熱心にご指導いただいた先生方と身近な存在として、たくさんの助言やサポートをしていただきました研修医の先生方に感謝申し上げます。